

Setting Up the PDS

2000 Fall Edition

Windows NT 版 PDS 6.4.1 のインストールおよび初期設定を行う際の手順を示す。なお、以下のバージョンのソフトウェアを使用するものとする。

Windows NT (英語版/日本語版)	4.0
Windows NT Service Pack	5/6a
Internet Explorer (英語版/日本語版)	4.01/5.01
MicroStation SE (英語版)	05.07.01.14
MicroStation/J (英語版)	07.01.01.36
PDS 3D	6.4.1
ISOGEN	6.4.1
PDS 2D	6.4.1
EE Raceway	6.4.1
FrameWorks Plus	3.2
NTBATCH	04.00.00.06
IPLLOT (Server/Client)	10.0
IPLLOT Driver Pack	2.2
Oracle	8.1.5
RISORADS	05.05.00.07
SmartSketch (英語版)	3.0/SP1
SmartPlant Review	04.00.01.10

1. Windows NT のインストール

Windows NT をインストールする際の注意点を以下に示す。

- RAID のコンフィグレーション
RAID 装置が内蔵/接続されているマシンでは、Windows NT のインストールを開始する前に、RAID の設定を行う。また、RAID のコンフィグレーションをフロッピーディスクに保存する。
- パーティションの作成
Windows NT のインストールを開始した後、インストール先パーティションの指定を行う前に、できるだけパーティションの作成を行っておく。
- インストール先フォルダ
デフォルトの C:\WINNT に対してインストールを行う。
- ライセンスモード (Windows NT Server のみ)
ライセンスモード (Per Server / Per Seat) を選択する。Per Server の場合は、Client Access License (OS 付属分 10 + 追加購入分) の登録を行う。
- Computer Role (Windows NT Server のみ)
コンピュータの役割 (Primary Domain Controller / Backup Domain Controller / Stand Alone Server) を選択する。
- Repair Disk
OS のインストールの際には作成しない。
- Setup Options (Windows NT Workstation のみ)
Typical を選択する。
- Select Component
デフォルトのままインストールを行う。 (Windows NT Server)
Install the most common components を選択する。 (Windows NT Workstation)
- Microsoft Internet Information Server
ファイルサーバとなるマシンでは、IIS (Internet Information Server) のインストール

を行う。Windows NT Workstation マシンをファイルサーバとして使用する場合は、OS のインストール終了後、PWS (Peer Web Services)をインストールする。

■ Network Protocol

使用するネットワークプロトコルを選択する。なお、TCP/IP は必須となる。場合により、NetBEUI, NWLink IPX/SPX, DLC Protocolなどを追加する。

■ DHCP

使用しない。

■ TCP/IP

アドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイの設定を行う。

■ IIS / PWS

Internet Service Manager および FTP Service をインストールする。フォルダなどの設定はデフォルトを使用する。

■ Clock

Time Zone を GMT+9 にし、正確な時刻を設定する。

■ Display Driver Configuration

Windows NT のインストール終了後、再度設定を行うため、デフォルトの設定にしておく。

2. Windows NT の設定

Windows NT のインストール終了後、以下の設定を行う。

- Num Lock および Welcome ダイアログボックスの設定
Administrator としてログオンを行う。キーボードの Num Lock をオンにし、ログオフする。再度ログオンし、Welcome to Windows NT ダイアログボックスの Show this Welcome Screen...オプションをオフにする。

- パーティションのフォーマット
未フォーマットのパーティションが存在する場合には、フォーマットを行う。

- PWS のインストール
Windows NT Workstation マシンをファイルサーバとして使用する場合は、PWS (Peer Web Services)のインストールを行う。Internet Service Manager および FTP Service をインストールする。フォルダなどの設定はデフォルトを使用する。

- Windows NT Service Pack
Windows NT Service Pack (5 または 6a)のインストールを行う。

- Display Driver
ディスプレイドライバをインストールし、マシンの再起動を行う。

サーバの場合

17 inch 以下のモニタを使用する場合は 1024 x 768 ドット 256 色以上、
17 inch 以上のモニタを使用する場合は 1280 x 1024 ドット 256 色以上に設定し、マシンの再起動を行う。

クライアントの場合

1280 (Dual の場合は 2560) x 1024 ドット 65536 色(High Color, 16-bit)以上に設定し、マシンの再起動を行う。

- 各種ドライバのインストール
RAID、ECC Memory、サウンド、マウス、テープデバイスなどのドライバを、必要に応じてインストールする。

- InterSite アプリケーションのインストール
Intergraph 製マシンの場合、Version Manager, InterSite Manager などのインストールを行う。
- Internet Explorer のインストール
Internet Explorer (4.01 または 5.01)のインストールを行う。
- 地域の設定
OS が Windows NT 日本語版の場合、コントロールパネルで地域の設定を英語(U.S.)に変更する。
- Client Access License の登録(Windows NT Server のみ)
ライセンスモードが Per Sert の場合、Administrative Tools の License Manager を起動し、Client Access License (OS 付属分 10 + 追加購入分)の登録を行う。なお、Product の指定(BackOffice / NT Server)に注意する。
- Full Drag の設定解除
Display の Properties を表示し、Plus!の Show window contents while dragging オプションをオフにする。
- Windows NT Explorer
View Toolbar でツールバーを表示する。また、全てのファイルが表示されるよう、View Options で Show all files に設定する。さらに、Display the full path in the title bar をオン、Hide file extensions for known file types をオフに設定する。
- ウィンドウのサイズ
Windows NT Explorer, Event Viewer, User Manager for Domains, Registry Editor などのウィンドウのサイズを適切に設定しておく。
- Event Viewer
Log Settings の Event Log Wrapping を、Overwrite Events as Needed に設定する (System, Security, Application)。

3. アプリケーションソフトウェアのインストール

アプリケーションソフトウェアをインストールする前に、レジストリの設定を行う。

- 1) レジストリエディタ(Regedt32.exe)を起動する。
- 2) Add Key コマンドにより、HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE に Intergraph というキーを作成する。
- 3) Add Value コマンドにより、HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Intergraph に以下の値を追加する。

Value Name:	Common
Data Type:	REG_SZ
String:	c:\win32appl\ingr\share

各アプリケーションソフトウェアは、以下の順序でインストールを行う。

- 1) Oracle
- 2) RISORADS
- 3) MicroStation
- 4) IPLOT Server
- 5) IPLOT Driver Pack
- 6) IPLOT Client
- 7) NTBATCH
- 8) PDS (+ ISOGEN)
- 9) その他のアプリケーション

以下に、各アプリケーションソフトウェアをインストールする際の注意点を示す。

■ Oracle

インストール先フォルダとして D:\Oracle\Ora81 等を指定する。Oracle 8i Enterprise Edition (Workgroup Server), Custom を選択する。Oracle Product Options, Oracle Java Products はインストールしない。必要に応じて、Net8 Products のインストールを行う。Java Runtime Environment のインストール先を D:\Oracle\jre\1.1.7 等に変更する。Oracle インストール時には、データベースを作成しない。Legato Storage Manager はインストールしない。Net8 のインストールを行った場合は、Net8 Listener の設定を行う。Naming Method の設定は行わない。

- RISORADS
インストール先フォルダを C:\WIN32APP\INGR\RISORADS に設定する。

- MicroStation
MicroStation SE の場合は C:\win32app\ustation、MicroStation/J の場合は C:\Bentley にインストールする。

- IPLOT
Server, Driver Pack, Client の順でインストールを行う。インストール先フォルダをデフォルトから変更する必要はない。

- NTBATCH
Version 04.00.00.06 を c:\win32app\ingr\ntbatch にインストールする。
Do you want jobs to have access to the desktop?に対し Yes、
Do you want to run all job as the same user?に対し No を選択する。

- PDS (+ ISOGEN)
各コンポーネントをデフォルトの設定でインストールを行う。RISORADS がインストールされている場合には、RISSHARE のインストールは行わない。

- その他
SmartSketch/SmartPlant Review 等のソフトウェアをインストールする。

- マシンの再起動
全てのソフトウェアをインストールした後、マシンの再起動を行う。

3 |japanese |japanese |0x0411|932|Japanese

上記の行を、次のように変更する。

3 |english |english |0x0411|932|Japanese

■ PDS Queue の作成

PDS Queue を起動し、Batch Queue を作成する。ISOGEN のバッチ処理を他のマシンで実行する場合には、PD_ISO 関連の Queue を Pipe Queue とする。

■ NTBATCH の Account Mapping

Batch Manager を起動し、** = DOMAINAdministrator などのように Account Mapping を定義する。また、ウィンドウのサイズを適切に設定する。

■ PDS ライセンス

ライセンスのインストール(pdlice -a)、またはライセンスサーバの登録(pdlice -j)を行う。

■ SetFormScale

Dual モニタのマシンの場合は、PDS 2D Tools の SetFormScale により、Form Scale Factors を X = 0.5, Y = 0.5 に設定する。

■ FWP Envelope Builder の更新

FWP 用 Envelope Builder プログラムの更新を行う。Command Prompt 上で c:\win32app\ingr\fwplus\bin ディレクトリに移動し、以下のコマンドを実行する。

```
clashupd c:\win32app\ingr\pdclash\bin
```

■ IPLLOT Driver Pack

日本語版 OS の場合は、C:\winnt\inf\ipdrvpc.inf ファイルの修正を行う。「Oc・」, 「Oc 饅」のように表示されている部分を、「Oce」に変更する。その際、前後のクウォーテーションマーク、空白、括弧などに注意する必要がある。なお、「Oc・」, 「Oc 饅」は、英語版の OS では「Ocè」と表示される。

■ プリンタ/プロッタ

IPLLOT サーバでは、使用するプリンタ/プロッタに合わせて、共有プリンタの作成を行う。また、ドキュメントの既定値やプロパティなどの設定を行う。

■ ユーザプロファイルのコピー

My Computer のプロパティを表示し、User Profiles タブを選択する。Administrator のプロファイルを選択して Copy To... ボタンを選択する。c:\Winnt\Profiles\Default User をコピー先として指定し、Permitted to use に Everyone を指定する。

■ Repair Disk の作成

コマンドプロンプト上で rdisk /s コマンドを実行する。サーバマシンの場合は、フロッピーディスクを挿入し、Repair Disk を作成する。

全ての設定作業を行った後、動作確認を開始する前にマシンの再起動を行う。